明けましておめでとうございます。

はなさかさかす

社会福祉法人報徳会
広報紙（季刊）
令和６年正月号
発行責任者
理事長　内田善久

新春コラム　「水の安全を考える」

社会福祉法人報徳会理事長　内田　善久

新年明けましておめでとうございます。日頃より当法人の活動にご協力を頂きまして誠に有難うございます。どうぞ本年も宜しくお願い申し上げます。

なお元旦より被災されました、能登地方の皆様に於かれましては心よりお見舞い申し上げますと共に救援活動中の皆様のご無事と早い現地復興を祈るばかりであります。

さて私達報徳会は、設立時より自給率向上を掲げ活動をして参りました。この事は、食料資源不足、物価高、環境への負荷、災害時緊急時自立度の向上、自主防災力の向上、等を意味しており、その手始めとして取り組んだのが水の１００％自給率＝民営水道許可井戸の取得運営と言う事で令和１年に完成し運営しております。しかしこの件は企画の段階で懸念事項がありました。それは沖縄県や福生等でみられる。米軍基地周辺における PFAS/PFOS 問題であります。これは飲み水の有機フッ化物汚染の問題で主に航空機火災等の際に使用する泡消火液の成分で人体に一度入ると代謝や排出されない恐ろしい発がん物質で工業では洗浄や器具のフッ素加工など広く用いられ現在では、空気中や水に含まれていると言われています。当法人も基地に隣接する立地の為、早速、水質を検査しようとすると、井戸の水質検査項目は５３項目＋芽胞検査だけすれば良く、関連多方面より、その検査は必要ない。無機フッ化物が基準値以下だから大丈夫です。検査費が高いから辞めた方が良い。やっては困る。基準値オーバーだったらどうするのか?とまで言われました。しかしもし基準値オーバーだったらＲＯ膜ろ過器を入れて対応しますと返答をし、私達は令和3年に PFAS/PFOS 水質検査を実施しました。幸い基準値以下でしたが、令和４年、やっと近隣行政が米軍基地周辺井戸の水質調査を実施した所、相模原市や座間市の複数井戸より基準値オーバーの結果が出て大きな問題になっています。そしてその事は下流域での取水場閉鎖の可能性へ発展するのではないかとも言われています。私たち報徳会「はなさか」は命に関わる事は「真実をスピーディに」を基本指針として「ゼロコロナ」運営の実績があります。水問題も命に関わる重要な問題ですので同アクションを進めて参ります。そして今後は随時ＲＯ膜ろ過器の設置を進めて「水の安全精度向上」に取り組んでいく予定です。どうぞご理解の程宜しくお願い申し上げます。

（「ＲＯ膜ろ過」とは現在の理論上最も精度の高い水ろ過で、PFAS/PFOS や放射能汚染水をもろ過すると言われているろ過方法です）

はなさか連載コラム⑰　「私が生まれてきた訳は」

社会福祉法人報徳会理事　岩壁　清吉

《「人間というのはたまにはいいことをしたり、たまには悪いことをしたり。それでまるごと一人の人間なんだろうと思う。いろんな能力があって欠点もある」とおっしゃっていた。欠点をそのままにして「それでもいいよ」という懐深い視点でつむがれる生身の人間の物語。見ているこちらは、自分と同じだと思い、どこか救われた気にさえなった。作家の奥田英朗さんが書いていた。「今の若者は誰に救われるのだろう。私たちには山田太一がいた」。別れにうろたえる。》（「筆洗」東京新聞 23・12・3）

同じ思いで想い出す29年前の光景。県下国語科教員の総会の講演を、との懇望は山田太一と同じ小田原高校出身の山口正樹先生の仲介で実現する。ご自宅訪問のエピソードに、救われる私たちがいた。《川崎市のお宅を前にした坂の上から、さした傘で手招くように優しく出迎えて戴いたこと、氏の人となりに感激したことを肴にその帰り道、津田山の駅前で持田雄史・鈴木芳明・山口先生と四人、一献を傾けたのであった。持田先生はカメラを持参しながら取り出すこともできなかったとは後日の笑い話。私たちの『岸辺のアルバム』は残らなかったが、後に『ふぞろいの林檎たち』宜しく『想い出づくり。』を快く味わうことになる。》（『かながわ高校国語の研究』）

思えば半世紀前に夢中で見た『３人家族』『二人の世界』。師の木下恵介からの示唆で書き上げた脚光のドラマ。ユーチューブで見直す竹脇無我・栗原小巻は今でも美しい。《人間が持っている曖昧さみたいなものを人物につけ加えていかないと、嘘っぽくなる》と見立てた脚本に、誰もが自らの〈分身〉と思えた共感劇として見入ったのだ。

付会を一つ。私事ながら昨秋、娘が『二人の世界』から『３人家族』になった。〈光臨〉と思うほどの慶びと仕合わせの歌に酔いしれる。《私が生まれてきた訳は 何処かの誰かに救われて 私が生まれてきた訳は 何処かの誰かを救うため》（さだまさし『いのちの理由』）

はなさか神宮初詣

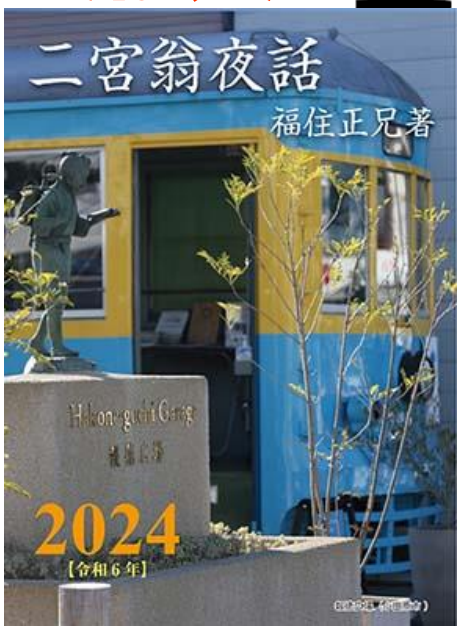
４年ぶりに「はなさか神宮初詣」を１階で開催しました。今年は神棚を新調して清々しいお正月となりました。お参りして頂いたご利用者の皆様は、大吉のおみくじを引いて嬉しい新年をお迎えになりました。

祝ご長寿

守屋 八重様 100 歳

昨年12月に百歳を迎えた千歳ユニットの守屋八重様。盛大なお誕生パーティーを催しました。

2024年 カレンダー



本年のカレンダーをホームページからダウンロードできます。

http://www.houtokukai.sakura.ne.jp/

デイサービス

静養室を拡充しました

デイサービスの静養スペースは、今まで同じフロアーにあったため「落ち着かない」「他の方の話し声が気になる」などのご意見があり改善の必要がありましたが、この度、別室に静かで落ちついた空間をご用意致しました。ベッド数も４台に増床しましたので、少し横になりたい、体調がすぐれない時などお気軽にお申し出ください。

トイレも完備した別室でゆっくり静養できます。

新磯ざる菊まつり

恒例の「新磯ざる菊まつり」が施設の前の会場で開催されました。今年も各色が一斉に咲き誇り、１５回目の開催を祝うように「祝１５」の文字が見事に浮き上がりました。

スタッフ紹介

虎尾ユニットの相原祐樹リーダー。物静かで優しい人柄のナイスガイです。

秋の祭典 はなさかフェスタ2023

秋の祭典「はなさかフェスタ２０２３」を開催しました。コロナ自粛明けで、久しぶりに縁日屋台を出しての屋外イベントに、ご利用者様の笑顔が溢れる楽しい時間を過ごしました。

はなさか農園 2024

タマネギの苗３種類２５０本を植えました。春先からゴールデンウィークにかけて品種毎に収穫し、みなさんのお食事に使用します。